

## Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、米第1四半期実質国内総生産(GDP)を受けて一時対レアルでドル売りが優勢の展開となり、2.91台半ばまでドル安が進行した。米商務省の公表によると、第1四半期GDPの伸びは設備投資や輸出が大きく落ち込んだ影響を受け、前期比0.2%増に留まった(前期の2.2%から減速)。マーケットの一部では、「4-6月期(第2四半期)に向かって米経済が回復するシナリオは想定しにくい」との悲観的な見方も見られる。一方で、公表されたFOMC声明文によると、足許の景気減速は「一過性の要因を一部反映したもの」と分析されており、「適切な政策緩和により経済活動は今後緩やかなペースで拡大する可能性が高い」との見通しを示した。また、「労働市場が一層改善され、インフレ率が中期的に2%の目標に戻っていくと合理的に確信した場合、引き締めは適切な対応となる」とのスタンスも維持。FRBが今後の景気見通しについて楽観的な姿勢を示したことで、マーケットでは再び利上げ期待が高まり、レアル相場は引けにかけてドル買いレアル売りへと反転。2.96台前半で取引を終えた。

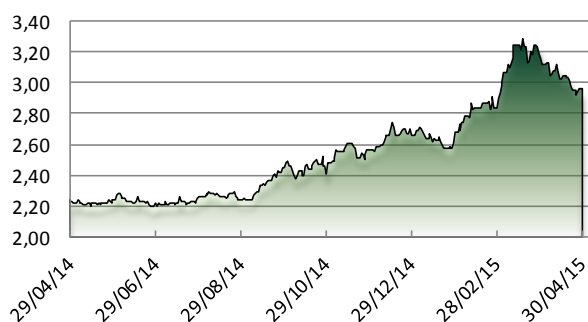
中銀は昨日の金融政策委員会(COPOM)において、政策金利(Selic)を市場予想通り50bp引き上げ、13.25%とすることを全会一致で決定。4会合連続での50bp利上げとなり、政策金利は2008年12月以来の高水準まで到達した。政府目標上限を大きく上回って推移するインフレ率を抑制し、投資家の信頼を取り戻すため、引き締め方針を今後も維持すると推測される。

## マーケットデータ

Indicator	Unit	4月28日	4月29日	前日比	3月27日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	40,44	40,18	-0,26	36,67	+3,51
USD / BRL Spot	BRL	2,9373	2,9613	+0,0240	3,2497	-0,2884
USD / JPY Spot	JPY	118,86	119,02	+0,16	119,13	-0,11
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	55.812	55.325	-487	50.095	+5.230
CDS Brazil 5yrs (クレディットデフォルトスワップ)	bps	226,6	228,8	+2,2	288,0	-59,2
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,65	12,66	+0,01	13,24	-0,58
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,51	13,42	-0,09	13,64	-0,22
3 Months US Dollar Libor	%	0,278	0,278	+0,000	0,275	+0,003
CRB Index (国際商品指数)	Index	224,7	227,3	+2,6	215,2	+12,1

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊社担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

